

E

Elementary school



長瀬小東北大会で銀賞受賞

第27回福島県マーチングフェスティバルは9月27日、福島市の県営あづま総合体育館で開かれ、長瀬小学校が金賞を受賞しました。

受賞の報告に町役場を訪れた野内季久里さんと佐藤雄士さん(共に6年)は「みんなで心をつなげて金賞をとれてうれしい。東北大会では、先生に指摘されたところを全部直して大会に臨みたい」と抱負を述べました。

11月2日に開催された東北大会では、24校中8位と惜しくも金賞受賞を逃しましたが、銀賞の最高位という過去最高の成績を収めました。指導に当たった小椋千恵子教諭は「児童たちがいい顔で演奏していたこと、保護者の皆さんが今までで最高の演奏だと言ってくれたことがうれしかったです」と大会の感想を述べました。児童たちは、全国大会出場への手応えを感じている様子でした。



写真上 前列左から津金町長、野内さん、佐藤さん、土屋教育長、後列左から江川校長、小椋教諭

写真下 11月2日に福島市で開催された東北大会での演奏の様子。

J

unior high school



創立三十周年の節目を祝う

吾妻中学校(矢沢良伸校長 生徒数77人)の創立30周年記念式典は11月1日、同校体育館で挙行されました。

式には生徒、教員や来賓など合わせて約110人が出席。矢沢校長、増子勇同窓会長のあいさつの後、津金町長らが祝辞を述べました。

式典の後は、国立天文台天文情報公開センター長である渡部潤一准教授が「星たちにも一生がある～最新天文学が解明した星の人生～」と題して講演。会場の生徒たちは、ドラマチックな星の一生に思いをはせました。

その後に開催された文化祭では、ビッグアートの披露、少年の主張、総合学習の発表や自由発表などで生徒たちが個性を存分に発揮しました。佐藤寿樹生徒会長は「中学校最後の文化祭。仲間たちと準備をしている時間が楽しかった」と感想を述べました。



写真上 「30年間、先輩たちから受け継がれた吾妻魂を、これからも継承していこう」とあいさつした矢沢校長
写真下 自身の体験を交えながら、星について楽しく講演する渡部准教授

スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO

H

igh school



地元開催で13年ぶりの力走

男子第54回・女子第27回県高校駅伝競走大会は10月23日、町総合体育館カメリーナをスタート・ゴールに、町内を周回するコースで開催されました。

駅伝部のない猪苗代高校。初めての地元開催に出場したいとスキー部の5人とバスケットボール部の2人(写真前列左から吉田元選手、佐藤智成選手、渡部剛弘選手、本田久志選手、大山瑠選手、井上賢之介選手、大東拓也選手)がチームを作り、13年ぶりの大会出場となりました。

「沿道の人がたくさん応援してくれてうれしかったです」と話すスキー部主将の井上選手は、昨シーズン、インターハイのアルペン男子大回転で2位に入賞している期待の選手。

「スキー部はこれからが本番なので、町民の皆さんの期待に応えられるよう頑張ります」と抱負を語りました。



写真上 見事な力走を見せた猪苗代高男子チームのメンバー(前列)。監督の本多隆教諭(後列右端)も選手の頑張りをたたえました

写真下 2区佐藤選手から3区渡部選手へタスキをつなぐ



園児らがコンクールに挑戦

千里幼稚園の堤聖也くん(4歳)の書いた絵が、第33回こども絵画コンクールで佳作を受賞しました。このコンクールは、未来を担う子どもたちの心豊かな成長のためと、住友生命こども絵画コンクール実行委員会が実施したもので、特別賞など上位に入賞した作品は、フランスのルーヴル美術館に展示されます。

絵を書くのが大好きで、書き出すと一生懸命集中して書く聖也くん。「これがクワガタとお友だちのカブトムシ、こっちがトンボ、カタツムリ、これは花だよ」と教えてくれました。

鈴木勝義園長は「子どもたちが短い時間の中で取り組み、全員出品できたことがうれしい。これからも出品していけたらいいと思います。聖也くんの絵は色彩感覚がいいですね」と子どもたちの頑張りに目を細めました。



写真上 表彰状を手に、緊張気味の聖也くん。上手に書けたねと話しかけると「うん」と笑ってくれました
写真下 虫たちの姿を書いた聖也くんの作品。カラーで見せられないのが残念

K

indergarten